

## 「エネファーム(ENE・FARM)」: 家庭用燃料電池システムに業界統一名称を採用

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、2009年度より予定されている家庭用燃料電池システムの本格販売に向けて、本日、FCGJ(燃料電池実用化推進協議会)より公表された統一商品名「エネファーム(ENE・FARM)」を採用することを決定しましたのでお知らせいたします。

「エネファーム(ENE・FARM)」とは、エネルギーとファーム(農場)の造語で、自分の家にエネルギー農場があり自分のエネルギーは自分でつくる、『おうちで採れたてエネルギー』をつくるという世界観を表現しております。また、ファーム(農場)という言葉を用いることで、人に、地球に、たくさんの実りをもたらす新しいエネルギーシステムを連想して頂けるものと考えております。

家庭用燃料電池システムは、その高い環境性から民生分野の温暖化対策の切り札として期待されています。当社は、2005年度から開始された政府の定置用燃料電池大規模実証事業に参加し、2007年度までの3年間で計831台を、全国47都道府県の一般家庭に設置してまいりました。

さらに、本事業の最終年度となる今年度は、497台を設置する予定で、累計で1,328台となります。これは本事業における総設置台数(約3,300台)の約40%を占め、事業参加者のなかで最多であります。

今後は、家庭用燃料電池の統一名称「エネファーム(ENE・FARM)」を積極的に展開し、世界に先駆けて国内市場向けに開始される来年度の本格販売に向けて、全力をあげて取り組んでまいります。

当社は、「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」のグループ理念のもと、環境に配慮した技術、商品の開発を積極的に進めてまいります。

以上

「エネファーム」及び「ENE・FARM」は、出願商標です。



<統一名称のデザインおよびロゴ>

おうちで採れたてエネルギー。

<キャッチコピー>